

環境経営レポート

【第 05 号】

(運用期間：2024年2月1日 ～ 2025年1月31日)



imi 株式会社アイエムアイ

【 目次 】

1. ごあいさつ	1
2. 環境経営方針	2
3. SDGsへの取り組み	3
4. 事業の概要	4
5. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
6. 主な環境負荷の実績	6
7. 環境経営目標及び実績	7
8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画	8～12
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	13
10. 緊急事態対応訓練	14
11. 代表者による全体評価と見直しの指示	15
12. これまでの環境活動の紹介	16

1. ごあいさつ

この度は、株式会社アイエムアイの環境経営レポートをご覧頂き誠にありがとうございます。

当社は、1996年に創立した電気工事業者です。公共工事を中心に地元に着した事業活動を行っております。

社会への貢献を目標のひとつとし、持続的な成長をしていくことを重要な使命として活動を行っております。

【社是】

知行合一

社是
～知行合一～

知(真の認識)と
行(道徳的实践)とは
合一のものである。

imi 株式会社 アイエムアイ

imi 株式会社 アイエムアイ
社員宣言

我々は「闘う頭脳集団」として
「知行合一」日々、努力、成長し
社会に貢献することを誓います。

2. 環境経営方針

《環境経営理念》

株式会社アイエムアイは、当社が関わる電気工事業の事業活動において、「地球環境の保全の重要性」を念頭に全社員で自然環境への負荷の軽減に努めます。

《環境保全への行動指針》

1. 当社は、環境経営マネジメントシステムを構築し、以下の項目について環境経営目標、環境経営計画を定め、環境経営の継続的改善に取り組みます。

①電力・燃料などの効率的使用及び省エネルギー活動に努め、二酸化炭素排出量削減を推進します。

②3R(リデュース:廃棄物の軽減・リユース:再使用・リサイクル:再生利用)を基本として自然環境への負荷の軽減に取り組みます。

③水使用量の削減に努めます。

④エコドライブ等を常に心がけ、化石燃料の使用量を節減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。

⑤効率的な作業及び工程管理を行い、手戻り作業の削減等を目指し創意工夫による生産性向上に取り組みます。

⑥社員とともに「働きやすく、働きがいのある職場づくり」に努めます。

⑦地域貢献活動を通じ、地域とよりよい環境コミュニケーションを図っていきます。

2. 当社の事業活動に関わる環境関連法規制及びその他の環境関連の要求事項を遵守します。

3. SDGs(Sustainable Development Goals)への取り組み

「知る」から「行動する」、そして「貢献する」へとSDGsに対する取り組みに注力します。

この環境経営方針は、当社の全社員に周知徹底するとともに一般に公表します。

制定 2022年02月01日

株式会社アイエムアイ

改訂 2023年02月22日

代表取締役 伊見 幸子

3. SDGsへの取り組み

SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す、世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。

貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール(目標)とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット(達成基準)があります。

株式会社アイエムアイは、これまで取り組んできたエコアクション21に関わる環境活動を活かし、SDGsに取り組めます。

取組例)



すべての労働者に健康診断を受診させる



新入社員への技術教育



男性の育休、介護休業取得



工事現場での男女別トイレの確保



性別・年齢にとらわれない雇用促進



耐震技術の向上



コンプライアンス意識の促進



1社で取り組むのではなく、地域一体となった取り組み

※一社一村運動、NPO法人との連携

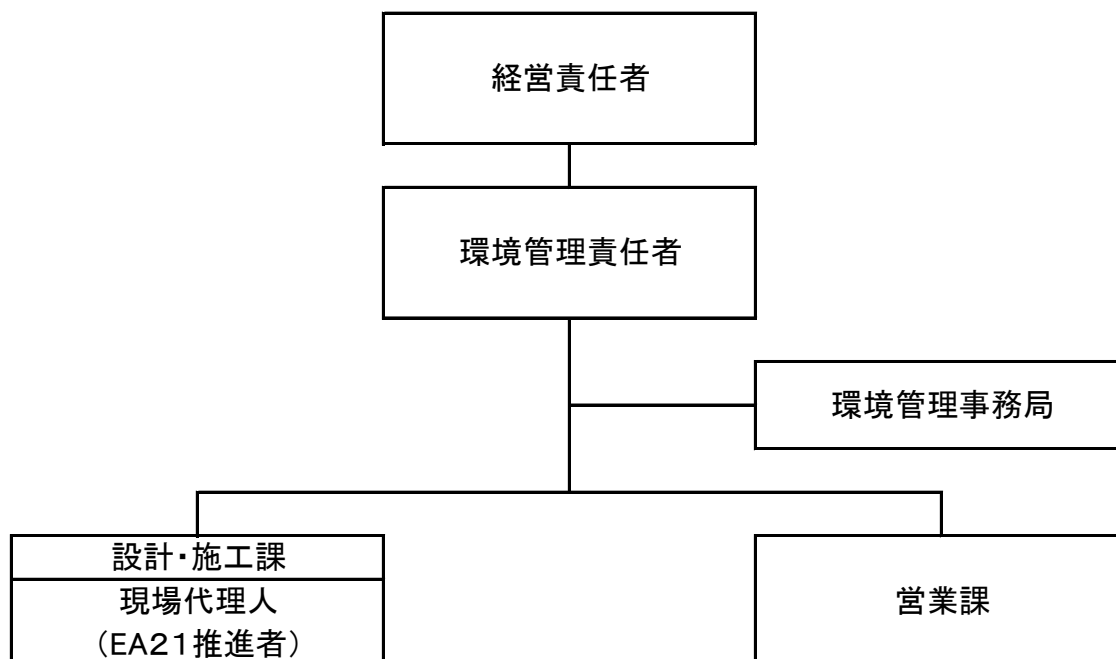


4. 事業の概要

- | | |
|---------------|--|
| 1. 名称 | 株式会社 アイエムアイ |
| 2. 代表者氏名 | 代表取締役 伊見 幸子 |
| 3. 設立 | 1996年4月3日 |
| 4. 所在地 | 【本社事務所】
〒024-0072
岩手県北上市北鬼柳2-19-1
TEL:0197-77-4810 FAX:0197-77-4671
URL:http://www.imi-iwate.com/
e-mail:imikitak@ruby.ocn.com
【金ヶ崎倉庫】
〒029-4502
岩手県胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻嶋田3-17 |
| 5. 環境管理責任者 | 専務取締役・総務部長 伊見 清華 |
| 6. 事業内容 | (1) プラント電気設備工事の設計・施工・管理・試験
(2) 電気通信設備工事の設計・施工
(3) 一般電気設備工事の設計・施工
(4) 消防施設工事の設計・施工 |
| 7. 事業規模 | 資本金 45,000,000円
売上高 44152万円 2024年度
社員数 14名 |
| 8. 建設業の許可 | 許可番号：岩手県知事許可(特-3)第50001号
種類：電気工事業、電気通信工事業

許可番号：岩手県知事許可(般-3)第50001号
種類：消防施設工事業 |
| 9. 認証・登録の対象範囲 | 株式会社アイエムアイ 全組織及び全活動 |

5. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



職 名	役 割
経営責任者	1)効果的な実施体制の構築 2)環境方針の制定 3)全体の評価と見直し 4)経営における課題とチャンスの整理、及び明確化 5)経営における資源の準備
環境管理責任者	1)環境活動の推進 2)環境目標及び環境活動計画の作成 3)経営責任者への推進報告
環境管理事務局	1)各部門データの集計 2)環境活動の実績管理 3)環境への負荷及び取組の自己チェック 4)文書及び記録の管理
現場代理人 (EA21推進者)	1)全作業員に対するEA21事項の環境教育 2)新規入場者(関係協力会社)に対する環境配慮の指示伝達
全社員	1)環境活動計画の実施 2)事務所、及び各工事現場のデータ整理

6. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
電力	kwh	6,786	6,637	6,404
ガソリン、軽油	L	4,435	8,696	7,599
灯油	ℓ	607	1,373	1,054
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	260	150	140
産業廃棄物排出量	kg	1,981	1,856	31,105

7. 環境経営目標及び実績

年 度 項 目		2023年	2024年		評 価	2025年	2026
		基準値	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量	kg/CO2	27,579	27,303	24,223	○	27,027	26,752
の削減	基準年度比		99%	88%		98%	97%
電力使用量	kwh	6,637	6,571	6,404	○	6,504	6,438
の削減	基準年度比		99%	96%		98%	97%
暖房機燃料使用量	灯油 ℓ	1,373	1,360	1,054	○	1,346	1,332
の削減	基準年度比		99%	77%		98%	97%
自動車燃料使用量	ガソリン ℓ	5,700	5,643	4,249	○	5,586	5,529
の削減	基準年度比		99%	75%		98%	97%
	軽油 ℓ	2,996	2,966	3,351	×	2,936	2,906
	基準年度比		99%	112%		98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	150	149	140	○	147	146
	基準年度比		99%	93%		98%	97%
産業廃棄物の再資源化			100%	12,755	△	100%	100%
				13,325			
				96%			
水道水の削減		住居と共同管理のため行動目標により評価（次項による）					
製品サービスに対する目標		環境クレーム 0件（実績）／ 0件（目標）					
地域貢献活動		17件（実績）／ 8件（目標）					

※購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(2023年12月22日)の東北電力の排出係数 0.483kg-CO2/KWhを使用

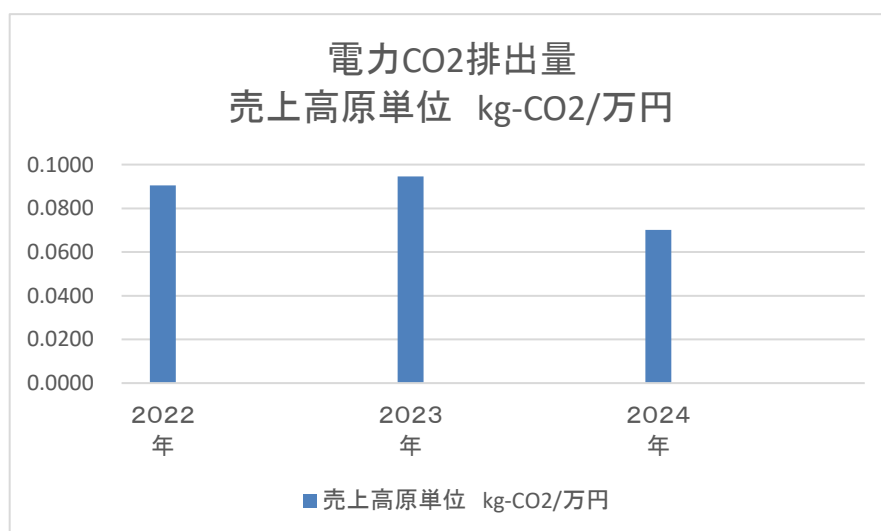
※水道水は住居と共同管理

8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

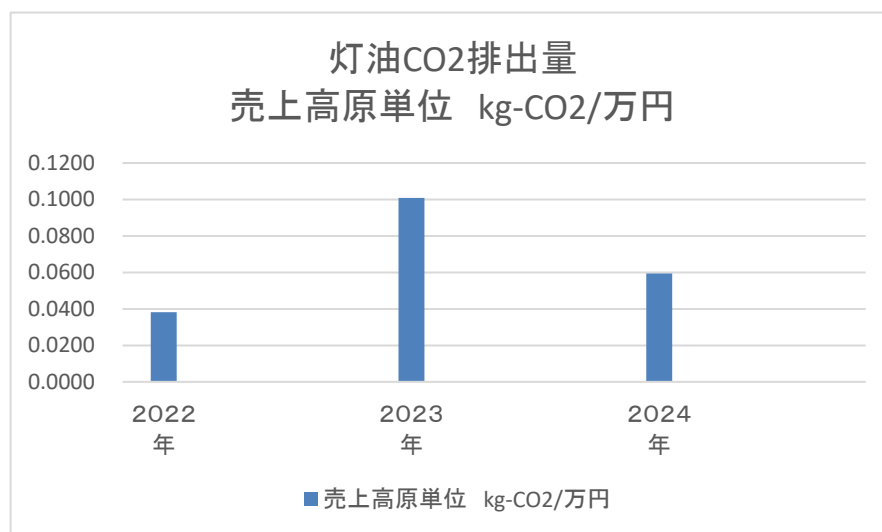
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画		
数値目標	○	数値目標及び原単位目標ともに目標を達成できた。 目標を達成できた大きな要因は、「本社2階のエアコンを省エネ機器に交換」、「社内的人数が少ない時に同部屋に集まり使用していない部屋の消灯・機器の停止」があげられる。 目標達成手段が習慣的に取り組むようになったと思われるため次年度も継続し取り組む。		
原単位目標	○			
・使用していない部屋の消灯・機器の停止	○			
・昼休憩時間帯の消灯	○			
・退社時に消灯・機器の停止確認	○			
・看板用照明のタイマー設定	○			
・照明器具の清掃	○			
・エアコン温度設定確認(夏:28℃)	○			
・エアコンフィルター清掃	○			
・PCのスリープ設定	○			
		2022年	2023年	2024年
CO2排出量 kg-CO2		3,583	3,206	3,093
売上高 万円		39,595	33,909	44,152
売上高原単位 kg-CO2/万円		0.0905	0.0945	0.0701
基準年度比			基準年度	74%



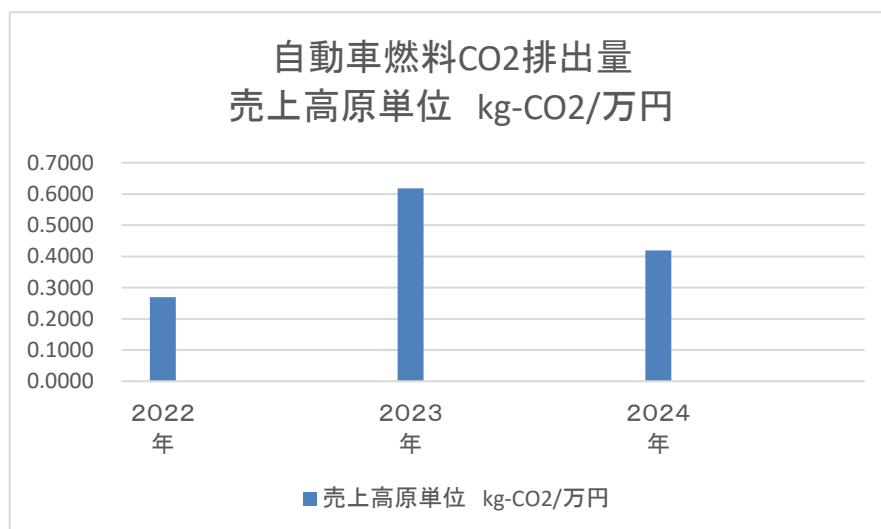
8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

暖房器による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画		
数値目標	○	数値目標及び原単位目標ともに目標を達成できた。 目標を達成できた大きな要因は、電力使用量と同様に「社内の人数が少ない場合に同部屋に集まり使用していない部屋の機器の停止」があげられる。 また、本社2階のエアコンを冷暖房型に交換したためFFヒーターの使用が減ったようだ。 目標達成手段が習慣的に取り組むようになったと思われるため次年度も継続し取り組む。		
原単位目標	○			
・温度設定確認（冬：20℃）	○			
・使用していない部屋の停止	○			
		2022年	2023年	2024年
CO2排出量 kg-CO2		1,511	2,628	2,626
売上高 万円		39,595	33,909	44,152
売上高原単位 kg-CO2/万円		0.0382	0.1009	0.0595
基準年度比			基準年度	59%



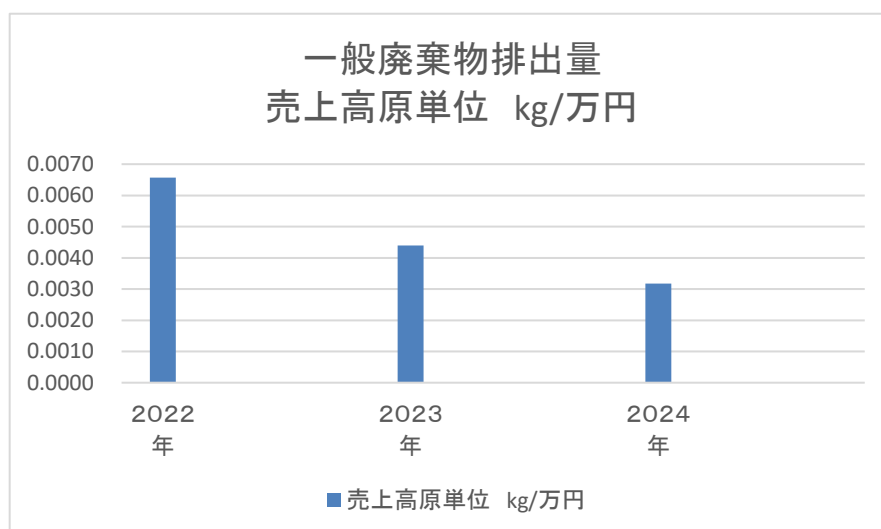
8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画		
数値目標	○	現場への直行直帰を社内規定で決めたため、移動距離の短縮ができ燃料の削減が大幅に達成できた。 ただし、社員の技量向上により労務応援等の依頼が増え社有車の稼働が予測されるため年度も継続し現場への乗合移動やエコドライブに取り組む。		
原単位目標	○			
・エコドライブの徹底	○			
・現場への乗合移動	○			
・月次車両点検	○			
・アイドリングストップの実践	○			
		2022年	2023年	2024年
CO2排出量 kg-CO2		10,673	20,954	18,504
売上高 万円		39,595	33,909	44,152
売上高原単位 kg-CO2/万円		0.2696	0.6179	0.4191
基準年度比			基準年度	68%



8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画		
数値目標	○	数値目標及び原単位目標ともに目標を達成できた。個人的なゴミの持ち帰りが徹底されており年々一般廃棄物の量が削減できている。目標達成手段が習慣的に取り組むようになったと思われるため次年度も継続し取り組む。		
原単位目標	○			
・コピー用紙の両面使用	○			
・裏紙の利用促進	○			
・段ボール、雑誌、新聞紙等のリサイクル	○			
・個人的なゴミ(弁当殻)は各自持ち帰る。	○			
		2022年	2023年	2024年
排出量 kg		260	150	140
売上高 万円		39,595	33,909	44,152
売上高原単位 kg/万円		0.0066	0.0044	0.0032
基準年度比			基準年度	72%



8. 環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	△	アスベストの事前調査が義務化されたことにより更新工事で再資源化できない廃棄物出るようになった。梱包材などは分別することにより再資源化できているため来年度以降も継続する。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・未使用時は元栓を閉める（金ヶ崎倉庫）	○	よく達成手段を取り組んでいるため、次年度も継続する。
・花壇への散水は河川水を利用する	○	
・トイレ使用時、擬音装置使用	○	

製品サービスに対する目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境クレーム 0件	○	どの現場も大きなクレームやミスも無いため、次年度も継続して目標達成手段に取り組む。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物資・事業活動等）	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	産業廃棄物保管の基準（保管場所表示60＊60等） ＊蛍光管は、「水銀含有製品産業廃棄物」の明示	○
	産業廃棄物処理は、許可業者に委託する。	○
	委託した産業廃棄物処理状況を確認するよう努める。（排出者責任）	○
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	排出事業者等の責務等（収集運搬、中間処理業者を1年に1回以上確認し記録する）	○

環境関連法規に関する違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去1年間ありません。

10. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：火災の発生、油流出事故の発生	
■実施日：令和6年5月18日	■実施場所：本社駐車場
■参加者：全従業員	
■評価：	手順書の変更の必要性： ☐ あり■なし
緊急時油処理キットを確認して訓練できたため理解しやすかった。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定：油流出事故の発生	
■実施日：令和6年4月2日	■実施場所：現場事務所
■参加者：現場作業員	
■評価：	手順書の変更の必要性： ☐ あり■なし
緊急時油処理キットを確認して訓練できたため理解しやすかった。	
■実施状況の様子	
	

11. 代表者による全体評価と見直し指示

実施日：2025年2月28日

見直し項目	評価	改善指示事項
環境経営方針	課題と課題解決によるチャンス を明確化することができている。	社員および協力会社に対して SDGsへの意識を高く持ち且つ更 に取り組みを勧めるよう指示す る。
環境経営目標	工事の受注状況にもよるが、数 値化は難しい。 2023年を基準年として電力による 二酸化炭素削減量、暖房機によ る二酸化炭素削減量、自動車燃 料による二酸化炭素削減量、建 設副産物の再資源化率の数値 目標を修正し、再度設定する。 課題とチャンスを明確化した事で 顧客との継続的な取引に結びつ いている。	左記の数値目標については、令 和7年中に原案を作成し、幹部会 議で精査の上、役員会議で決定 すること。
実施体制	環境管理事務局の副担当を3名 とし、一年間運営した。これにより 一部の社員にのみ掛かっていた 負担が分散されてきている。社員 全員がエコアクション21の業務内 容を把握できるように定期的に環 境管理事務局のメンバーを交代 していく。	売上増加に伴い社員全体の業務 が増えているので、事務職員が 常時業務のサポートを行う。
全体評価 環境経営目標については、達成されつつある。しかし、今後も物価高騰や公共事業の減 少に伴う受注減少の可能性は否めない。 故に化石燃料、電気、水道等の使用量の削減とその他経費の積極的な節約が必要不 可欠となる。また、工事受注の状況によるので前年との単純比較は難しいが、本年も売上 を確保し、原単位での目標再設定と目標達成を目指す必要がある。そのためには社員全 員の技術力の向上と意識改革、職場環境の整備が必須となる。		

環境経営方針：■変更なし □変更あり

環境経営目標・計画：□変更なし ■変更あり (実績をふまえて見直す)

実施体制他：■変更なし □変更あり

12. これまでの環境活動の紹介

地域貢献活動として、下記の活動を行いました。

西和賀町小繫沢地区
「雪灯り」雪像製作



展勝地公園あじさい畑の美化運動



展勝地周辺道路の草刈り



金ヶ崎倉庫周辺
路肩清掃及びゴミ拾い



日向ダム湖畔の集い2024
（「森と湖に親しむ旬間」のイベント）



西和賀町小繫沢地区
古道「秀衡街道」草刈り

